

うらわ美術館多世代交流ワークショップ

## 自分の絵を見つける日 誰かの絵とつながる日 ～子どもも大人も、本気で描くワークショップ～

2021年1月17日(日)

講師:池平 徹兵さん(アーティスト) / 会場:シーノ大宮センタービル内 生涯学習総合センター 10階多目的ホール

緊急事態宣言の発令により開催が危ぶまれましたが今回の多世代交流ワークショップはコロナ対策を徹底した上での開催となりました。

冒頭で講師の池平さんの活動紹介。「一生懸命描くこと、上手い下手は別。挑戦することが大切」という池平さんの言葉が印象的でした。床に散りばめられた写真やフィギュアを各参加者が描きたいものを選んで描く。池平さんの言葉に背中を押されるように参加者の皆さんはそれぞれが選んだ写真を元に作品制作に取り掛かりました。参加者同士の席が離れ、一人で活動出来る空間だからこそ真剣に絵と向き合えたように感じました。

池平さん、うらわ美術館の方々が参加者の一人一人に声をかけている姿に穏やかな空間が生まれていました。仕上がった作品は1枚ずつ大きなキャンバスに貼られていきました。1枚

ずつ貼りつける際も1人1人に感想を聞いていきます。そしてお互いの絵を引き立て合うように、池平さんが作品を配置していきます。キャンバスに自然な形で参加者の方たちの作品が馴染んでいきました。池平さんの言葉通りに一生懸命に描かれた作品はとても生き生きとしていました。コロナ禍の中でのワークショップだからこそワークショップに参加された方々の笑顔が心地良く感じられた1日となりました。

今回は午前の部(10:30-12:30)の参加者と午後の部(14:00-16:00)の参加者の制作を引き継いで、講師の池平さんがご自身のアトリエで制作を行い作品が完成します。作品は2月の中ごろからうらわ美術館が入っている浦和センチュリーシティ1階の屋外ショーケースにて展示される予定となっています。作品の完成が楽しみです。笑顔になれたワークショップで完成した作品についてはまたご紹介出来ればと思います。

